

平成21年1月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年6月12日

上場会社名 株式会社 アルトナー 上場取引所 J Q  
 コード番号 2163 URL <http://www.artner.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則 TEL (06) 6445-7551

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年1月期第1四半期の業績 (平成20年2月1日 ~ 平成20年4月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年1月期第1四半期	1,292	-	98	-	99	-	56	-
20年1月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
20年1月期	4,899	15.2	452	45.7	409	41.8	241	60.7

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年1月期第1四半期	64	23	63	99
20年1月期第1四半期	-	-	-	-
20年1月期	298	30	296	87

(注) 当社は、平成20年1月期第3四半期より四半期実績の開示を行っているため、平成20年1月期第1四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、平成20年1月期の%表示は対前期比増減率であります。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年1月期第1四半期	1,765		894		50.7		1,014 38	
20年1月期第1四半期	-		-		-		-	
20年1月期	1,774		917		51.7		1,040 13	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年1月期第1四半期	111		35		△207		557	
20年1月期第1四半期	-		-		-		-	
20年1月期	213		△70		△187		617	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期 末		年 間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年1月期	—	—	90	00	90	00
21年1月期 (予想)	—	—	80	00	80	00

(注) 平成20年1月期期末配当金の内訳は、普通配当70円00銭、上場記念配当20円00銭であります。  
平成21年1月期 (予想) 期末配当金の内訳は、普通配当80円00銭であります。

3. 平成21年1月期の業績予想 (平成20年2月1日 ~ 平成21年1月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,716	14.1	197	3.2	198	4.9	105	△3.9	119	52
通期	5,465	11.5	417	△7.7	420	2.6	222	△7.8	252	66

(注) 平成21年1月期の業績予想につきましては、平成20年3月13日の決算短信において公表いたしました業績予想について特に変更はありません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰やサブプライムローン問題を背景とした米国経済の先行き不透明感が懸念されるものの、堅調な企業収益、新卒採用の増加を背景とした雇用環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の主要顧客である電気・精密機械・輸送機器関連企業におきましては、業績も好調に推移し、製品開発や生産技術開発も活発であったため、設計開発業務の受注が伸びました。

このような市場環境において、当社は、主要事業である技術者派遣事業の強化及び顧客企業のニーズに対応するため、優秀な人材の確保、技術スキルの向上、コミュニケーション能力やヒューマンスキルの向上を目指した教育と、新規優良顧客の開拓と既存顧客の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間の売上高は、派遣技術者数の増加、既存技術者のスキル向上に伴う単価のアップにより1,292,507千円、営業利益は98,032千円、経常利益は99,006千円、第1四半期純利益は56,647千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間における総資産は、1,765,358千円(前事業年度末は1,774,443千円)となり、9,085千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少105,698千円、賞与引当金の増加等による短期繰延税金資産の増加55,121千円及び売掛金の増加50,477千円によるものであります。

当第1四半期会計期間における負債は、870,742千円(前事業年度末は857,118千円)となり、13,624千円増加いたしました。主な要因は、賞与引当金の増加123,378千円、社債の償還130,000千円によるものであります。

当第1四半期会計期間における純資産は、894,615千円(前事業年度末は917,325千円)となり、22,709千円減少いたしました。主な要因は、繰越利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は、557,496千円と前事業年度末に比べ59,698千円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果得られた資金は、111,841千円であります。主な要因は、賞与引当金の増加額123,378千円、税引前第1四半期純利益99,006千円、法人税等の支払額96,086千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動の結果得られた資金は、35,876千円であります。主な要因は、固定性預金の払戻による収入48,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動の結果使用した資金は、207,415千円であります。主な要因は、社債の償還による支出130,000千円、配当金の支払額64,815千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今期の技術者採用人数は、計画値を大きく上回り、通期業績向上の要因ではあるものの、当社の顧客である製造メーカーは原油価格の高騰に伴う原材料の上昇等の景気減速要因を内存している状況であります。

こうした状況をかんがみ、当第1四半期会計期間における業績予想に関しては、売上高及び利益ともに平成20年3月13日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
該当事項はありません。
  
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更  
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成20年1月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成21年1月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年1月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	—	632,496	—	—	738,194
受取手形	—	11,565	—	—	11,170
売掛金	—	601,165	—	—	550,687
貯蔵品	—	1,873	—	—	1,597
その他	—	211,993	—	—	157,317
貸倒引当金	—	△4,000	—	—	△3,700
流動資産合計	—	1,455,093	—	—	1,455,267
II 固定資産					
有形固定資産	—	101,755	—	—	103,141
無形固定資産	—	33,299	—	—	35,311
投資その他の資産					
保証金	—	122,969	—	—	121,649
その他	—	52,672	—	—	59,504
貸倒引当金	—	△432	—	—	△432
投資その他の資産合計	—	175,210	—	—	180,722
固定資産合計	—	310,264	—	—	319,176
資産合計	—	1,765,358	—	—	1,774,443
(負債の部)					
I 流動負債					
1年以内返済予定長期 借入金	—	46,700	—	—	50,400
1年以内償還社債	—	130,000	—	—	210,000
未払法人税等	—	93,289	—	—	100,249
賞与引当金	—	242,777	—	—	119,399
その他	—	237,052	—	—	181,849
流動負債合計	—	749,818	—	—	661,898

科目	前年同四半期末 (平成20年1月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成21年1月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年1月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
II 固定負債					
社債	—	—	—	—	50,000
長期借入金	—	15,000	—	—	23,900
退職給付引当金	—	104,464	—	—	119,859
その他	—	1,460	—	—	1,460
固定負債合計	—	120,924	—	—	195,219
負債合計	—	870,742	—	—	857,118
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	—	237,087	—	—	237,087
資本剰余金					
資本準備金	—	167,137	—	—	167,137
資本剰余金合計	—	167,137	—	—	167,137
利益剰余金					
利益準備金	—	10,460	—	—	10,460
その他利益剰余金					
別途積立金	—	40,000	—	—	40,000
繰越利益剰余金	—	440,357	—	—	463,084
利益剰余金合計	—	490,817	—	—	513,544
自己株式	—	△149	—	—	△149
株主資本合計	—	894,893	—	—	917,620
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	—	△278	—	—	△295
評価・換算差額等合計	—	△278	—	—	△295
純資産合計	—	894,615	—	—	917,325
負債・純資産合計	—	1,765,358	—	—	1,774,443

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年1月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年1月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成20年1月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	—	1,292,507	—	—	4,899,017
II 売上原価	—	891,886	—	—	3,437,964
売上総利益	—	400,620	—	—	1,461,052
III 販売費及び一般管理費	—	302,588	—	—	1,008,631
営業利益	—	98,032	—	—	452,420
IV 営業外収益	—	2,612	—	—	7,344
V 営業外費用	—	1,638	—	—	50,024
経常利益	—	99,006	—	—	409,740
VI 特別利益	—	—	—	—	12,230
VII 特別損失	—	—	—	—	1,911
税引前第1四半期(当期)純利益	—	99,006	—	—	420,058
法人税、住民税及び事業税	—	90,908	—	—	165,567
法人税等調整額	—	△48,549	—	—	13,129
第1四半期(当期)純利益	—	56,647	—	—	241,361

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年1月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年1月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成20年1月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第1四半期(当期)純利益	—	99,006	420,058
減価償却費	—	3,398	10,609
長期前払費用償却額	—	230	2,167
貸倒引当金の増加額(△減少額)	—	300	△14,630
賞与引当金の増加額	—	123,378	20,712
退職給付引当金の減少額	—	△15,395	△33,549
受取利息及び受取配当金	—	△114	△361
支払利息	—	507	3,698
社債利息	—	347	2,306
株式交付費	—	—	4,220
上場関連費用	—	—	36,296
投資有価証券評価損	—	—	1,911
売上債権の増加額	—	△50,872	△51,289
未払消費税等の減少額	—	△1,524	△3,703
その他	—	50,060	△3,241
小計	—	209,321	395,205
利息及び配当金の受取額	—	114	361
利息の支払額	—	△1,508	△6,137
法人税等の支払額	—	△96,086	△175,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	111,841	213,730



	前年同四半期 (平成20年1月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年1月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成20年1月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定性預金の預入による支出	—	△2,000	△24,000
固定性預金の払戻による収入	—	48,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△8,631	△1,972
無形固定資産の取得による支出	—	—	△26,703
保険積立金の増加額	—	△172	△706
投資有価証券の取得による支出	—	—	△1,043
敷金及び保証金の支出	—	△4,149	△25,358
敷金及び保証金の解約による収入	—	2,830	9,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	35,876	△70,323
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	—	—	1,200,000
短期借入金の返済による支出	—	—	△1,310,000
長期借入金の返済による支出	—	△12,600	△82,800
社債の償還による支出	—	△130,000	△110,000
株式の発行による収入	—	—	180,579
上場関連費用による支出	—	—	△36,296
自己株式取得による支出	—	—	△149
配当金の支払額	—	△64,815	△29,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△207,415	△187,991
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の減少額	—	△59,698	△44,584
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	617,194	661,779
VII 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	—	557,496	617,194